

奈良市総合計画審議会 第1部会（第3回） 会議録

1 日時 平成22年7月19日（月・祝） 午後6時～午後8時

2 場所 奈良市役所 5階 キャンベラの間

3 出席者

【委員】伊藤忠通部会長、石川路子委員、杉江雅彦委員、舟久保敏委員、武蔵勝宏委員

（欠席 緒方賢史委員）

【市職員（総合計画策定委員会委員）】企画部長

【市職員】事務局（企画政策課職員）

4 会議事項

- 1 奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（総論）について
- 2 奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（各論）について
- 3 その他

※全て公開で審議。（傍聴人0人）

5 配布資料

奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（総論）

奈良市第4次総合計画前期基本計画（案）（各論）修正部分抜粋

参考資料

- ・総人口（住民基本台帳及び外国人登録者数）と国勢調査の人口との比較
- ・序論で使用するグラフ、奈良市の歩み

6 議事の要旨

- 配布資料全体について、事務局が説明。

基本構想の図「奈良市の人口推移と推計結果（出生低位）」において、国勢調査ベースでない総人口については、「住民基本台帳及び外国人登録者数」という注釈を付記している。

配布資料の下線部分が、今回加筆・修正している部分である。

(1) 奈良市第4次総合計画前期基本計画(案)(総論)について

- 資料「奈良市第4次総合計画前期基本計画(案)(総論)」について、事務局が修正点を説明。
 - ・下線部分以外の修正点として、ゾーン別人口を削除している。
 - ・重点戦略において、労働力人口という表現及びこれに伴う脚注を削除している。
 - ・「重点戦略2 環境」に関連する基本施策として、「基本施策4-04 廃棄物処理」を追加している。
- 序論で使用するグラフについては、年号を西暦・平成のどちらかに統一をすること。また、以前、国勢調査と住民基本台帳ベースの人口にどれくらい誤差があるかという話があったかと思う。
→[事務局] 配布資料の「総人口(住民基本台帳及び外国人登録者数)と国勢調査の人口との比較」で示すとおり、国勢調査実施年度で比較すると、すべて総人口が国勢調査を上回っているが、比較的近い数値になっている。よって、全ての数値を国勢調査の値で統一はしていない。しかし、2008年度の人口が国勢調査ベースでないことについては明記する。

(2) 奈良市第4次総合計画前期基本計画(案)(各論)について

- 事務局が、資料「奈良市第4次総合計画前期基本計画(案)(各論)修正部抜粋」について説明。
 - ・第7章の下線部分は、第1部会第1・2回会議での意見を踏まえた修正点である。
 - ・「目標の達成度を評価する指標」に追加している「【①】」といった表現は、対応する「施策の展開方向」を示すための事務局案である。
 - ・第7章以外の章については、第2、第3部会の第1回会議での意見を踏まえて担当部局が各章の修正を行い、修正案が各部会です承されたもののみ、今回配布した。修正していない章については配布していない。

2-02-01 青少年の健全育成

- 指標として「家庭教育講演会参加者数」が加わっている。また、施策の展開方向①「家庭の教育力の充実」において、「公民館における家庭教育の講座」が省かれているようだが、なぜか。
→[事務局] 以上2点の理由については、担当課に確認する。

2-03 生涯学習

- 事務局が、修正点を説明。

- ・高齢者等に対する紙ベースの情報発信も重要だという意見を受け、「奈良しみんだより」のことを追記している。
- ・グラフの軸を取り直して、見やすく修正している。
- ・平成20年から公民館利用が減少していることの原因として、公民館が有料化されたことを注釈で追記している。

2-03-02 図書館の充実について

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・移動図書館を含めて、図書館で行っている事業等を細かく追記している。
- 指標として「図書資料貸出冊数」と「児童書貸出冊数」が別々に挙げられているが、数としては実際に分かれているのか。
 - [事務局] 「児童書貸出冊数」が、「図書資料貸出冊数」の内数なのかは、担当課に確認する。

2-04 文化遺産の保護と継承、2-04-01 文化遺産の保存と活用

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・2-04の基本施策名を、より広い概念、短い表現に修正した。
 - ・「関係機関との連携」については、デジタルアーカイブの関係で追記されている。
- 指標「史跡の保存整備事業の進捗率」の目標値が63%から60%に下がっているのはなぜか。
 - [事務局] 委員より63%が半端な数字という指摘をいただき、修正した。
- 「関連機関との連携」とは、何を進めるためなのかもう一度説明してほしい。
 - [事務局] 文化財資料、無形文化財等の映像をデジタルアーカイブで保存することを目的として、県・や大学が連携していることが背景であるが、現在の表現では分かりにくいいため、修正する。

2-05 文化振興、2-05-01 文化の振興

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・子ども向けの文化教室や、大人向けの文化講座のようなものを実施しているということで、施策の展開方向として「③伝統文化の普及と継承」を追加している。
- 委員からの意見で、祭りを継承しなければならないというものがあった。大きな祭りだけではなく、後継者難で廃れかけている伝統的な祭りをどうにかしなければならないという意見であった。

2-06 スポーツ振興について

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・市営スポーツ施設等利用者数を示すグラフで、平成 19～20 年の利用者数が減少している理由の説明を注釈で追加している。

- 市営スポーツ施設等利用者数の減少について、平成 20 年の理由は説明されており理解できるが、平成 19 年はなぜ減少しているのか。
 - [事務局] 平成 19 年も年度末頃からリニューアル工事が始まっている影響があるのではないかと思う。

- 同じく利用者数について、平成 17 年から平成 18 年にかけて大きく伸びている理由は何か。
 - [事務局] 担当課に確認する。

3-01-01 地域福祉の推進

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・指標「**「奈良市地域福祉計画」優先プログラムの実施事業数**」を削除している。
 - ・指標「**地域福祉活動計画の策定地区数**」については、全市的な策定状況を示すため、策定率を追加している。

- なぜ指標「**「奈良市地域福祉計画」優先プログラムの実施事業数**」を削除したのか。
 - [事務局] 削除した指標は、継続して取り組まなければならないという理由から、現状値・目標値ともに 10 事業としていたが、目標としては適切でないという判断である。施策的な意図としては、優先プログラム 10 事業を維持することが目標である。

- 「**施策の展開方向**」のなかで、「**優先プログラムの現状維持に努めます**」と書けば、特に問題はないのではないか。
 - [事務局] (担当部署の説明では、) 優先プログラム自体が、奈良市地域福祉計画のなかに文言として挙がっているということだったかと思う。

- 削除した指標をそのまま削除するか残すかの判断は、事務局に任せる。
- 必要に応じて担当部署に確認してほしい。
- 指標の「**地域福祉活動計画**」に※印を付けて、注釈とリンクさせてほしい。
- 施策の展開方向に「**①奈良市地域福祉計画の推進**」とあり、「**②地域福祉活動の推進**」内には「**地域福祉活動計画の推進**」とあるが、ふたつの計画は異なるものなのか。
 - [事務局] 異なるものである。①の計画は既に策定されているものであり、②の計画は地区ごとにこれから策定するものである。

②の計画について「地域ごとに」と補った方が分かりやすいのであれば追記する。計画の正式名称を含めて担当課に確認する。

3-01-02 社会保障の確保

- 事務局が、修正点を説明。

・内部的な目標値「訪問調査実施率」を指標として掲げていたが、委員より、人員を増やせばパーセンテージが上がる指標はいかなるものかという指摘があったため削除した。改めて違う指標を提示することになっているが、国民健康保険等は国の施策であるため市独自の指標を提示することは難しく、現在は保留している。

- 第3部会では、削除した指標について、目標を80%にすることがおかしい、100%で当たり前という意見が出ていた。本施策だけ指標がなくておかしいということであれば、目標を100%にして指標を復活させてもいいかもしれない。

- 最終的には100%を目指すということだろうが、2015年までには困難ということかと思う。

施策の展開方向として国民健康保険事業と低所得者等の自立支援に触れているが、社会保障の意味は幅広い。例えば、福祉の話が出ていない。市が関わっている民生行政の指標などがあれば良いと思う。

→[事務局] 担当課が他の自治体の例も調べているが、奈良市が持っているデータ自体が多くない。例えば特定健康診査を指標にできないかと考えたが、これは2年前から実施しているものであり、受診率はかなり低い。指標を設定するとしても、実効性のある目標は2割程度になってしまう。

民生委員の相談件数については、奈良市ではデータを持っていない。

- 削除された指標は、本来100%であるべきという理由で指標自体を消されてしまうと、目標がないことになってしまう。目標達成が到底無理だという理由で指標を削除するよりは、本来100%であることを踏まえて、80%を上限と決めず、80%以上を目指すということにしてはどうか。

- 指標について、努力目標か、推定値かを明記してはどうか。指標によって捉え方は違って来るかと思う。

- そういう意味では、すべて努力目標かと思う。

- 訪問調査実施率を高めれば高めるほど、保護率は下がるのか。

→[事務局] 比例はしないようである。

- 了解した。保護率を下げるために、訪問調査実施率を高めると誤解されては困ると考えた。

- 指標について、この部会での提案は難しいかと思う。事務局や第3部会等からの意見を待って検討することにする。

→[事務局] まだ資料には反映されていないが、低所得者層の自立支援の項目で、

生活保護を受けている方々の自立支援について加筆予定である。

- 自立支援として、生活保護の受給期間（の短縮）等を指標として挙げられないだろうか。受給期間は長期化の傾向があり、高齢者等を理由とする受給者が多いが、最近では経済的な理由での受給者も増えている。

3-02-01 子育て支援の推進

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・指標「子育て中の親子の集える場の設置数」の目標値を58に修正した。この値は、奈良市次世代育成支援行動計画において2014年までに計画されている設置数である。修正前は、2015年度の1年分を上乗せして目標値を63としていたが、実際に計画にある値に修正した。

3-02-03 子育てと仕事の両立支援

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・指標「整備が必要なバンビーホーム数」について、増減のどちらが良いのか分からないという指摘があった。バンビーホームの整備が進み、数が減ることは良いことであるため、目標値が数値の減少であることを強調する追記を行った。
- 指標をバンビーホームの整備率等で示してはどうか。
 - [事務局] 整備が必要なバンビーホームとは、新たに設置が必要という意味ではなく、老朽化・狭あい化したバンビーホームのことである。
- 施策の展開方向②の文章「老朽化・狭あい化したバンビーホームを計画的に整備します」という表現を、「改善していく」というような表現にしてはどうか。指標についても整備でなく「改善が必要なバンビーホーム数」としてはどうか。
 - [事務局] そのように修正する。

3-03 障がい者・児福祉

- 「障害」と「障がい」の表記が混在している。
 - [事務局] 「障がい」で揃えているが、「障害者手帳」のみ固有名詞であるため「障害」で表記している。

3-04 高齢者福祉、3-04-01 高齢者福祉の充実

- 事務局が、修正点を説明。
 - ・基本施策3-04の、現状の3つ目の項目をグラフ化する方向で作業を進めている。
 - ・市の事業仕分け結果を受けて、施策3-04-01の施策の展開方向①から、「入浴補助券を交付する」という内容を削除した。

- 指標「老人福祉センターの利用者数」の目標値が大きくなっているのはなぜか。
→[事務局] 根拠はあると思うが、担当課に再確認する。

4-02-01 環境にやさしい社会の構築

- 施策の展開方向②「地球温暖化対策の推進」の「アイドリング・ストップを推進し、低公害車の普及促進を図ります」は、施策が2つにわかれているのであれば、アイドリングを推進「し」ではなく「するとともに」ではないのか。
→[事務局] ご意見を踏まえて修正する。

(2) その他

- 全体を通して、図表の表現があまりばらばらにならないよう注意してほしい。西暦や平成の統一や、目標値が%か実数であるか、目標値が増加値と減少値のどちらになるかなどについて整理をしてほしい。
- 目標値を減少値とする指標については、できるだけ「改善」のような表現を使うことで、数値を減少させることが良いと分かりやすくなるような表現に工夫してほしい。
- 指標の後ろに追加する、関連する施策の展開方向の番号（【①】等）の意味については、どこかで説明するのか。
→[事務局] ご指摘の点を含めて、基本施策、施策の見方を示す例のページを、各論の最初に追加する予定である。
- 基本施策 4-02 から自然環境に関する内容がなくなるが、重点戦略の環境の部分には奈良市の自然に関する記述があるため、自然環境に関する内容がなくなるのはどうか。この内容は、基本施策 5-02「景観」か、基本施策 5-06「公園・緑地」で受けるしかないと思う。現在の各論では、基本施策 5-02-01「奈良らしい景観の形成」の施策の展開方向③「自然環境の保全育成」のみで受けているが、担当部会ではどのような議論があったか知りたい。
もし、上述の施策の展開方向③のみで受けるとすれば、景観の指標が「景観まちづくりに関する参加団体数」のみであるため、その他に施策の展開方向③に係る風致や保存樹数に係る指標を入れられればいいかと思う。
→[事務局] 第3部会では、自然環境に関する意見はなかった。確かに、自然環境の内容を受けるとすれば施策 5-02-01 しかないため、再度調整する必要があるかと思う。
- 基本施策 5-02「景観」に施策をもうひとつつ入れて、5-02-01「景観」をまちづくりの内容、5-02-02「自然」を自然景観の内容といったように分けてはどうか。
- 自然環境に関しては、施策の展開方向③「自然環境の保全育成」もあるため、指

標を足すだけでも良いと思う。

- 市は奈良市景観計画の推進も必要であり、そこで力を入れている自然環境の内容まで入れるのはいかがなものか。

→[事務局] 基本施策 5-06「公園・緑地」で、関係する市の計画として奈良市緑の基本計画」を挙げている。施策 5-02-02 を追加するとなれば、緑関係の施策が2つに分かれるのが気になる。

- まとめるか分散させるか、事務局で検討・調整してほしい。

- 事務局より、総論の内容について報告。

先日、総論の交流人口等の数値を変更する可能性があるとして報告したが、担当課に確認したところ、県の値は変更されているが、奈良市については現在の数字をそのまま使用する予定であるとのことである。

以上